



パトロール活動メモ 千代町会

時間	月～金曜の午後4時～5時頃
場所	町会の地域一帯
人数	・1回、5人くらい ・50人くらいが10組に分かれて交代でパトロール
活動内容	・近所の人(特に子ども)への声かけ ・防犯用チラシの配布



防犯特集 地域総ぐるみで防犯活動を

千二百人がまちをパトロール 防犯パトロール隊の活動

「まちの安全を守るために自分たちでできることはないか。」

各学校のPTAでもパトロールを行っています。下校時の通学路に立つて児童に声掛けしたり、自転車の前かごにステッカーをつけて、買い物中にパトロールをしたりし



こんないいことも

- 子どもたちに顔を覚えられ、声をかけられるようになった
- 健康のために一人で歩いてきたけど、みんなでパトロールしながら歩くほうが楽しい
- 地域に貢献しているという充実感、やりがいがある
- 地域の人の顔が良く見えて、地域の輪が広がる

地域の力がまちを守る

犯罪に遭わないための心得である「犯罪者の嫌う4カ条」の中で自分だけではないということも解決できないことがあります。それが「地域の目」―不審者や怪しい車両などへの監視です。そのためには、地域住民主体の防犯活動が効果的と言われています。区民が行うパトロールの目的は、犯罪を見つけて捕まえることではなく、犯罪が発生しにくいまちをつくることです。パトロール活動をアピールすること、近所の人に声をかけながら巡回することが犯罪の抑止につながります。

「区民自らが考え、平成十五年十二月、「高津防犯パトロール隊」が発足しました。各町内会・自治会を中心に防犯パトロール隊を結成し、地域を巡回しています。発足当初は、四団体、五十人くらいでしたが、現在では、四十七団体約千二百人がパトロールに参加しています。区は、その活動を支援するため、パトロール用のベストと腕章を貸与しています。

パトロール活動メモ 久末小学校

時間	月、火、木、金曜の児童の下校時頃
場所	通学路
人数	・1回4人くらいが2グループ ・久末小の児童がいる全世帯が交代でパトロール
活動内容	・児童への声かけ ・危険箇所(草むらなど)のチェック



犯罪者の嫌う4カ条

プザー・警報音など大きな音や声で近所に知らせる。

音

- 防犯プザー
- 警報ベル

住宅周囲(玄関灯・門灯・庭園灯)を明るく照らす。

光

- 照明
- 防犯灯
- センサー付きライト

侵入犯は侵入に時間がかかるのを嫌う。1つのドアに2つのかざ(1ドア2ロック)を。

時

- 錠前破り対策
- ガラス破り対策

地域の目が大切。日ごろから不審者や不審車両に監視の目を向ける。

目

- 防犯カメラ
- テレビドアホン
- 地域パトロール

空き巣

「泥棒はスキを狙っている」

- ・窓や2階への足場となる物を置かない
- ・電柱に近い窓には格子を付ける
- ・植栽やブロック塀で見通しを妨げない
- ・郵便受けなどに新聞・チラシをためない
- ・施錠する。また、補助錠を付ける

※自宅の防犯性は、インターネットで簡単にチェックできます。
<http://www.jusri.or.jp/check/>
(財)都市防犯研究センターのホームページ

ひったくり

「遠くても明るい道を」

- ・歩行中はバッグ類を車道と反対側に持つ
- ・二輪車は荷物カゴに防犯ネットを装着する
- ・路地に入ったら、一度振り向く

オートバイ・自転車盗

「雑然とした場所は犯罪が多い」

- ・決められた場所(駐輪場)に整然と駐輪する
- ・施錠をする
- ・防犯登録をする

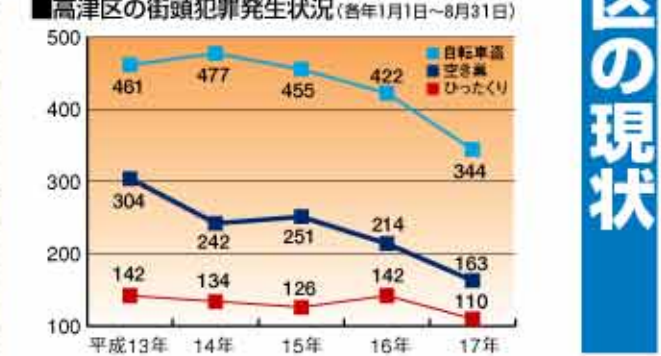
犯罪情報を提供

身近なところで犯罪が発生していることを知り、注意することも防犯対策として重要です。

区内の犯罪発生情報については、NPO法人「防犯ネットワーク」が随時メールで配信しています。高津警察署から毎日のように送られてくる情報をもとにNPOのスタッフがまとめ、登録している会員に一斉に送られます。詳しくは、下記のホームページをご覧ください。

<http://www.bouhan-network.com/>

家庭でできる防犯対策



「空き巣やひったくり、自転車盗といった被害に遭わないために、私たちはどのようなことを心掛けたらよいのでしょうか。」

被害を未然に防ぐため、家庭でできる具体的な方法をいくつか紹介しましょう。

犯罪者は①大きな音を出す、②明るく照らされる、③侵入に時間がかかる、④顔や姿を監視される、の四つを嫌う傾向があります。この四カ条を守っている住まいは侵入しにくいと判断し、あきらめるのです(具体例は左記参照)。

★一日八円でできる防犯 今日からでもすぐ実行できる方法としてお薦めのものが、

撲滅目指し 意識を高める

高津警察署は、街頭犯罪の抑止を最重点課題に掲げ、犯罪を減らすため、日夜取り組んでいます。

例えば、六月から毎日、区内の駅前地域で犯罪情報報を掲載したチラシを配布し、注意を呼びかけています。その結果、今年一月から六月まで百一件あったひったくりが、七月は二件、八月は七件にとどまっております。徐々にその成果を上げているといえます。

高津警察署小林生活安全課長は、犯罪を減らすため

に区民ができることについて、次のように語っています。「まずは、近所同士でいざつをする。空き巣が犯行をあきらめた理由の第一位が近所の人に声をかけられたためです。犯罪者は地域の連帯感を嫌います。また、ごみの出し方などのルールを守ることも、無株



序なまちは犯罪者のねらい目となります。そして、自分の住むまちに関心を持つこと。不審者がいたら、他人事と思わず、通報することも大事です。このような一人一人のちょっとした心掛けや注意で大幅に犯罪を減らすことができます。パトロールも重要ですが、それには限界があります。一人一人が防犯意識を高めることが犯罪を減らす近道といえます。

警察の取り締まり、パトロールも重要ですが、それには限界があります。一人一人が防犯意識を高めることが犯罪を減らす近道といえます。

区全体で安全安心のまちづくりを

区では、このような防犯パトロール隊やPTAなどの防犯活動を総合的に支援する「高津区安全・安心まちづくり推進協議会」を十一月一日に設立します。

協議会には、区役所だけでなく、警察、消防、高津防犯協会なども加わります。富田防犯協会会長は、「この組織を核として、まちの安全を地域ぐるみで守ることを目指していきたい」と話しています。

地域パトロールに参加するには

防犯パトロールに参加したい人は、町内会などにお問い合わせください。また、高津防犯パトロール隊に登録を希望する団体は、区にお問い合わせください。PTAのパトロール活動については、学校にお問い合わせください。

問合せ：千代町会 区役所地域振興課 ☎(861)3146 ☎(861)3103

